



ひまわり先生
活用レポート

岩手県遠野市立上郷小学校
千葉 裕之 副校長

ひまわり先生で 校務を効率化



研修会の開催など、 充実のサポート体制が魅力

私は昨年度まで釜石市の甲子小学校に教務主任として勤めていました。そこでは校務の効率化を進める動きがあり、教員一人ひとりにノートパソコンを配備していただきました。Excelを使って通知表を印字できるような仕組みを自作して運用していました。

しかしこうした自作のシステムでは学年や教科ごとに細かな設定が必要でした。そのため、導入すれば効率化が図れると思う一方で、パソコンが苦手な先生方にとってはハードルが高いのではないかという心配もありました。そんなときに成績集計と通知表が連動し、しかも誰でも簡単に扱えてサポートも充実している『ひまわり先生』を販売店の方から紹介されました。導入を検討していた当時は必ずしも全ての先生方に賛成してもらえたわけではありませんでした。当時の校長先生が導入に積極的だったこともあり、ひまわり先生の導入を決定しました。

ひまわり先生の導入後も光文書院

の教材の採用を強制するようなことは一切しませんでした。結果的に多くの学年で光文書院の教材を使うことになりました。ひまわり先生を使うことによる校務の軽減の効果を先生自身が感じられたからだと思います。二〇一一年度から通知表の作成を行っています。東日本大震災後に学校が避難所や自衛隊の活動拠点となり、校務に加えて被災者対応をするようになりました。そうした中で校務を効率化できたので特に助かりました。また、導入後も販売店や光文書院を通じての研修会やサポートなどが非常に充実していたため安心して使うことができました。



「もう、ひまわり先生が 手放せない!」

ひまわり先生は自作のExcelに比べて機能面で優れていて使いやすく、さらに成績の集計だけでなく生活の様子なども記録できるので非常に便利でした。また、これまでは通知表の下書きも先生方の自由な形式で提出してもらっていましたが、ひまわり先生導入後は形式を統一で

きたので、下書きを確認する管理職の先生にとってもメリットが大きかったと思います。中にはパソコンの操作が得意ではない先生もいて、思い通りに操作できないときなどにちよっとした不満の声が出ることもあります。それでも「手書きに比べたら楽」という思いはみな同じようにもついています。実際、ひまわり先生での通知表作成を一度経験した先生は「もう手放せない」「他の市町村には行けない」と言う方も多く、転勤した先生の中には、異動先の学校でもひまわり先生の通知表を使い始めたり、書式を持って行って個人で使っていたりする人もいます。



通知表の書式は学校の実態に合わせて自由に編集できます。



かんたん!充実!学習成績診断ソフト

ひまわり先生

機能紹介!

得点を入力するだけ! 補助簿も簡単作成!

ひまわり先生はメニュー画面がシンプルで機能的にできています。画面の左側は成績処理、右側は新機能「週案」と行事予定表、下側はプリント・名前シールでまとめられ、いつでもすぐに必要な画面に移動することができます。そのため、初めて使う先生でも簡単に使いこなせます。



ノートパソコンでの入力も、得点入力画面に表示される「マウス

直観的な操作ができるわかりやすいメニュー画面。

用テンキー」で、マウスから手を離さずに簡単にできます。テストの得点入力に特化して、「5点」、「10点」単位での入力もできます。さらに、あらかじめひまわり先生に設定されている観点別評価項目にABCまたは得点を入力するだけで、補助簿シートも作成できます。

得点集計や成績診断も すぐできる!

一度得点を入力すれば、得点集計表や成績診断シートの表示・印刷の際に、改めて成績データの読み込み作業はまったく必要ありません。

いつでも必要なときにメニュー画面にある観点別・単元別の「得点集計表」「成績診断シート」などのメニューボタンをクリックするだけで閲覧画面が表示されます。印刷は画面で確認して「印刷」ボタンを押すだけでOKです。また、国語、算数、理科、社会、

生活科、音楽、図工、家庭科、体育の専科による集計も可能です。もちろん、集計後は学級担任へのデータ渡しも簡単です。さらに、最大8クラスまで少人数クラスが登録でき、学期途中でもクラス間での児童の移動ができます。



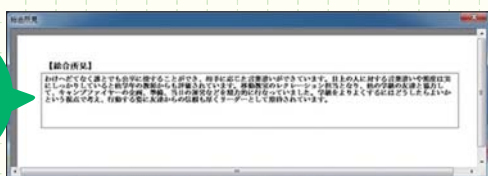
保護者向けの説明資料などにも使える
単元別+観点別成績診断シートも自動で作れます。

通知表も指導要録も ひまわり先生で作成!

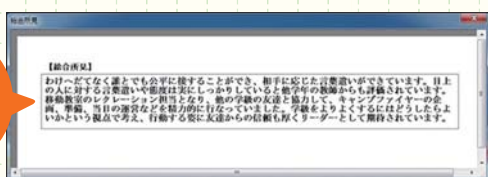
「通知表作成機能」で全校統一の通知表が簡単に作成できます。必要に応じてレイアウトを自由に変更したり、学校独自の項目を

追加したりできます。他にも、「学習のようす」や「学校生活のようす」の観点や評価項目数を変更することも可能です。また、観点別評価だけでなく、単元ごとの評価も可能となりました。

さらに入力をサポートする機能として、入力の際に実際の印刷画面と同じ文字サイズや改行等が表示される「リアルレビュー」機能、**所見文の文字数によって文字サイズが自動調整され、枠内にバランスよく収めることができる「自動フォント調整」機能も搭載**しています。



小さい文字が詰まって表示されました。



枠内に適切な大きさに表示されます。

上: 自動フォント調整 OFF / 下: 自動フォント調整 ON